

【組織・機構に係る問題点・課題点】

- 縦割り行政（組織）である。
- 山陽小野田市のような市では、部長－次長－課長－課長補佐－係長という縦割りの長い組織は必要ない。もっと簡素な組織体制にすべきである。
- 担当者の裁量権が少ない。
- 副市長の顔が見えない。先頭に立って活躍して欲しい。
- 市長と副市長の連携をもっと密にし、副市長も積極的に市民の声の中に入るべきである。
- 現在の副市長制度を廃止する。もしかの時は総務部長がその任に当たればよい。
- 市長が立派なので財政難のこの山陽小野田市には、副市長はいらない。
- 市長はカリスマ性を発揮していただきたい。
- 市長はトップ外交力を発揮していただきたい。特に大企業などの誘致を。
- 意思決定に時間が掛かる。
- 「市民の目」一般市民には、管理職以上の方々がどのようなお仕事をされているのか見えません。責任者だけのお仕事になっているとの声も・・・。
- 上の位の人が既成概念から抜け切らない。（頭がかたい！）
- 前例踏襲的で改革に消極的。
- 意見・要望・苦情等について、現在、公民館等に意見箱がおかれているが、その意見等に対して全体的な組織体制をとって返答し、市民の意見・要望に対応できるようにしてほしい。
- 横の連携が弱い。
- 市政運営に無駄が多い。もっと部長・課長等は、組織の連携（横軸）と能率的に職務が行われるように考えるべきだ。
- 「市役所」は市民の役に立つ所。
一般企業の土曜日休日は一部のみが現状。土曜日祭日等の開所の必要はないのだろうか。
要望等は出てないのか。
- 市民の生活にあった窓口を開設。
（例1）子供の問題や育成についてそこへ行けば、子供の事が全て分かる。
（例2）「死亡」されたとき、1つの窓口ですべて出来る様に。
- 忙しい人と暇な人と差がありすぎるのでは。
- ほうれんそうがない。
- 旧市・旧町の職員の融和の促進。全員一丸となれ。
- 賃金カット・報酬カットなど、後向きの縮小均衡ではなく、十の成果を上げて欲しい。
- 執行機関の組織体制をもっと簡素化して人員の削減を図るべきである。
- 市長と執行機関（各課・部）との「ほうれんそう」が出来ていない。市長の知らない事がある。
- 市全体を統括する部署が必要。

【解 決 策】

【条例への反映】

【効率性に係る問題点・課題点】

- 機動性にかける
- 仕事にスピード感がない。
- 利益追求の必要がない為、業務の効率をあまり考えていない。
- 反省⇒次の取組みがない。自分達でする事はないのか。
- 要望や苦情等に対してその対応をもっと迅速かつ的確に対応してほしい。
こうしたことも公表してほしい。（開かれた市政）
- 各課・出先機関共に今一度業務内容を分析しムダを洗い出して欲しい。
合併したのだから……そのままでは意味が無い。人の見直しをすべき。
- 道路工事の回数が多過ぎる。（モグラミたい）
もっと計画的にやればムダが少なく出来るはず。回数も減る。
- 経費削減。作業の効率UPを図ることによる人員削減。
- 「市民」のための市役所。手続きマニュアルの設置を。
（例）「夫が亡くなったその手続き」 まず、市民課へ。
口頭やメモではなく分かりやすい進行手順を作成してみては。「市役所」として。
- 融通がきかない。
- 担当者でないとわからないことがある。
- 山陽総合事務所の活性化。現状では一公民館並みではないか。

【解 決 策】

【条例への反映】

【情報公開に係る問題点・課題点】

- 情報公開が不十分
- 情報公開を積極的に行わない。
- 開かれた自治体として積極的な情報公開や提供が弱い。
- 情報公開・情報共有への積極的姿勢がない。
- 情報公開不足から市民の不安が募る。
- 行政が持っている情報が十分公開されていない。
- 行政が持っている個人情報 that 十分保護され、その防止策が取られているのか。
- 市が行う審議会・委員会・職員組合との団体交渉等
会議について公開・参加を原則とすべきである。
- 市民病院の建設について、市民病院の建設に当たっては現在の位置での拡充でよいか、
新しい場所での建設がよいか、建設費等の事を十分考え、位置・規模等について、
市民の意見を十分聞くべきである。
- 補助金交付の情報公開。財政危機とは？
職員の間で？職員の意識レベルは？
- 入札が不透明。（各種の入札制度） 各種の問題公開。

【解 決 策】

【条例への反映】

【人事制度に係る問題点・課題点】

- 高齢化。
- 年功序列である。
- 年功序列型の組織では能力が発揮できない。
- 職員給与が、勤務成績の如何に関わらず、毎年、給与が上がっていくシステムになっている。
- 市の状況に応じた職員数にすべき。
- 時間外手当は不要。
- 職員数、他市との比較、人材育成の方法は？
各種技能・資格を身につけていく。
- 市職員数の適正化を図るべきである。
- 各種手当での洗い直しが必要。手当の種類が多過ぎるのでは。
一般市民から見た時、理解しかねる。
- 信賞必罰の機能が欠如。（怠慢か節約かの見極めをすべき。）
- 経費削減。作業量に対応した人員配置に基づく人員削減。
- 財政難なのに退職金が普通に出る。
- 全庁を挙げて、職務分析をやれ。⇒適正人員の把握。
- 「現場の職員」さん、不平不満が聞こえませんが「ご苦労様」同じ職員でも……。
一般市民は観ています。適切な人事異動を。

【解 決 策】

【条例への反映】

【職員の意識に係る問題点・課題点】

- 市民にキチンと説明しようとししない。
- 市民の為に”奉仕”するという意識が低いと感じる。
- 地方分権の時代に突入。今までのような規則・規律のみの業務にとらわれず、柔軟な考え方、広い視野を持って臨む。
- 市民の声を聞こうとししない。
- 倫理学を習得し、ボランティア精神を身に付ける。
- いつも自分の仕事が市民から見られているという意識の欠如。
(プロ意識の欠如。)(納税者第一主義。)
- 市政懇談会の参加者が少ない。何故少ないのか十分検討すべきで
今度とも継続実施すべきである。
- ただ仕事をこなすだけで目的意欲を持って仕事をする人が少ない。
- 危機(改善)感の欠如。(親方日の丸的な発想)
- 職員の自治会活動への参加。自治会活動が不活発になってきている。
市職員の地域行事への参加を義務づけるべきである。
- 就業時間中ぐらいいはタバコを我慢してほしい。
- 仕事の守備範囲が狭い。
- 職員は市民全体の奉仕者という意識が弱い。
もっと市民の声を聞く職員であってほしい。
- 職員と市長の関係・・・
- 上司が現場を知らない。
- 「親方日の丸」の意識は捨てよう。
- 「あいさつ」どうせするなら元気よく。(挨拶して損はなし)これも教育か？
役所も民間企業も一緒です。
- 無関心こそ最大の罪。(職員・市民・議員)(横の連携)
- 自己満足している職員が多い。(能力のキャパシティの差)
- 未来責任の欠如。(将来の街づくりのため今何が出来るか)
- 出る杭になる職員が少ない。(我がままとは異なる)
(個人の価値観より組織の価値観)
- 職員のモラルが低い。
- 一部の群れた職員に行政が支配されていた。
(市民の為の仕事。市長の為に仕事をしている。)
- 市財政の危機感に温度差がある。
- 公僕認識を深め、毎日の朝礼で「我々は公僕です。」と一斉に唱えてから公務に就く。

【解 決 策】

【条例への反映】

【財政運営に係る問題点・課題点】

- 財政に対する危機感がない。
- 市としてどうやって財源確保を計るのか。
商売をする。ゴミ袋作成販売。
- 経営感覚を持って欲しい。
- 市には、遊休公有地や施設がある。
将来を見通して土地取得や施設建設をしていない。
- 市長や議長の公用車の使用は廃止すべきである。
運転手や車の維持管理費、ムダが多い。
- 市制の新旧を比較して問題点を考える。財政・その他・ムダな事業。
何が節約できるのか。
- 職員の財政危機感が少な過ぎる。親方「日の丸」意識から脱しきれていない。
もっと意識・意欲を高めて欲しい。
- 財政破綻寸前なのにボーナス及び各種手当ではそのままとは……
理解しかねる。給与も5%カットでは少なすぎる。
- 市職員は何々手当が多過ぎて税金の無駄遣いになるので減らすように。

【解 決 策】



【条例への反映】

【事業評価に係る問題点・課題点】

- 事業評価をしない。
- 行政施策や公共工事についての評価・効果がなされていない。
- 各部署で定期的に見直しの機関を設ける。その内容を公開する。
- 市は、出資団体に対してもっと目を向けていくべきである。
- 事業に対する評価システムがない。
- 役所の中にチェックマンとして「市民オンブズマン」を置き不正をなくすようにする。
- 計画を立てることには長けているが、検証がされない。
- 行政分析を実施する組織(体制)が必要。

【解 決 策】



【条例への反映】

【人材育成に係る問題点・課題点】

- 知識・能力を維持する為、あるいは、新しい事を吸収する為の勉強や努力するという姿勢が甘い。
- 新しいことへの取組む意欲に欠ける。
- チャレンジ意欲に欠ける。
- 経費節減。マルチ対応教育に基づいた相互協力による人員削減。
- 人を育てる意識を持つ職員が少ない。(特に幹部)(組織は人なり。)
- 勉強不足。コンサルタントに頼りすぎ。
- 市職員が「行政のプロ」を自覚せよ。
- 知識・スキルを高めるべく研鑽を積み。
- コンピューターを活用せよ。社内ラン等。

【解 決 策】



【条例への反映】

【民意の反映に係る問題点・課題点】

- 現在、住民投票条例はあるようであるが、住民はその内容等を知っていないのではないか。
誰でも住民投票を発議できるように簡素化・明文化すべきである。
- 市政について、市民にアンケートを実施してはどうか。
(市民が市政の現状にどう思っているかを把握するため。)
- 総合計画等各種計画の立案に当たっては、当初から市民の参加を義務づけるべきである。
- 市の重要な課題・新規事業については、パブリックコメント制を導入して、
市民の意見の集約を図って進めるべきである。

【解 決 策】



【条例への反映】

【組合関連に係る問題点・課題点】

- 組織（組合）が強すぎて改革が進まない。
- 労使交渉について市民の傍聴を認めるようにする。
- 執行部と組合などの交渉の場に一般市民が傍聴できるようにする。

【解 決 策】



【条例への反映】

【外部監査に係る問題点・課題点】

- 外部監査委員（市民オンブズマン）を設置する。
- 現在の職員による監査は、表面的な事務処理上の指摘のみで、業務の効率的な改善や不正防止につながっていない。
外部監査制度（市民オンブズマン制度等）を導入すべきである。
- 市政・行政の監査制度の確立（第三者機関を設立）

【解 決 策】



【条例への反映】

【その他要望等】

- 学童保育、児童クラブの時間。
(長期休み。8:30～、親の仕事開始時間は変わらない。)
- 役所の中に職員の手で「何でも実施する部署・課」を設けて欲しい。
そこに市民と役所の一体感が生まれる。職員の意欲とアイデアも生まれる。
- 当市は干拓地帯であるが、台風等による水害対策や避難体制は十分なのか不安である。
- 市長立候補者にマニフェストの提出を義務づけるべきである。
- 市長に任期制を導入すべきである。
- 「市のゴミ袋」の販売店価格の相違はなぜか……不満の声をよく耳にします。
- 「市教育委員会」独自で週5日制教育を早く元に戻せないのか。
今の現実を改善できないものか……子供のために！
- 議会だより・市報の統一、議会だよりとししろ位置
- 市議の政策提言が見られない。もっと調査活動を行うべきである。
- 市議会の情報提供が弱い。もっと市民の声を聞くべきである。
(市民に開かれたものに)
- 市議の市政の監視及び牽制が弱い。
- 市議への答弁がなっていない。

【解 決 策】



【条例への反映】

A large, empty rectangular box for reflecting on the ordinance.